

# 器具の使い方を覚えよう

4/24  
p210  
211

めあて  
気体検知管と石灰水の使い方を覚えよう

## ① 気体検知管とは

とりにんだ気体にとれくらい酸素や二酸化炭素があるかを調べる器具

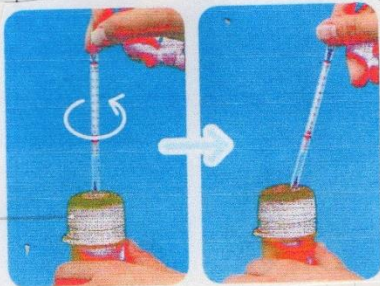


酸素用検知管



二酸化炭素用検知管

<使い方>

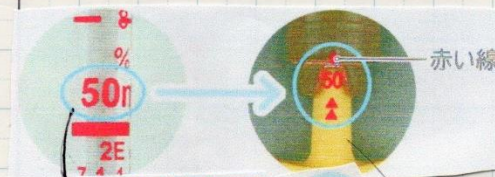


チップホルダ

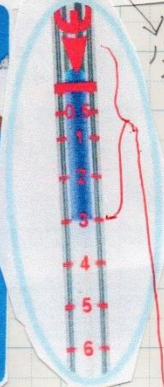
- ① チップホルダで検知管の両はしを折りとる。
- ② 矢印のない方にカーゴムをつける。(安全のため)
- ③ 矢印を採取器に向け、さしこむ

0.03~1.0% と 0.5~8.0% の2種類ある。  
↑(矢印)  
0.03~1.0%  
0.5~8.0%用  
(0.03~1.0%用ではかり切りはできません。)

④ 検知管に書かれているとおり気体量



に合うようにハンドルを回す。



⑤ 調べる気体はいつたものに入れハンドルを一気に引いて固定する。

⑥ 決められた時間待つ検知管を

と以外し、色の変わったところを読む。

要注意  
酸素用検知管は熱い!

## <石灰水の使い方>

要注意  
石灰水が目にはいたらとても危険なのでかならず防護メガネをする!

